

# AWA Nishi-izu 宿泊約款

## 第1条:適用範囲

1. 当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

## 第2条:宿泊契約の申込み

1. 当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。
  - 1) 宿泊者名
  - 2) 宿泊日及び到着予定時刻
  - 3) その他当館が必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

## 第3条:宿泊契約の成立等

1. 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度として当館が定める申込金を、当館が指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

## 第4条:申込金の支払いを要しないこととする特約

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館（ホテル）が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

## 第5条:宿泊契約締結の拒否

当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

1. 宿泊申込みが、この約款によらないとき。
2. 満室（員）により客室の余裕がないとき。
3. 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
4. 宿泊しようとする者が、伝染病患者であると明らかに認められるとき。
5. 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
6. 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

7. 旅館業法施行条例の規定する場合に該当するとき。
8. 宿泊しようとする者が暴力団、暴力団員、暴力団関係企業、団体またはその関係者、その他反社会勢力（以下「暴力団等反社会勢力」という。）である場合。
9. 宿泊しようとする者が暴力団、または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体である場合。
10. 宿泊しようとする者が法人で、その役員のうち暴力団に該当するものがあるもの。
11. 宿泊しようとする者が、他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をした場合。
12. 宿泊しようとする者が、当館もしくはその従業員に対し暴力的要求行為を行い、または合理的範囲を超える負担を要求した場合。

#### 第6条: 宿泊客の契約解除権

---

1. 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館が宿泊客に告知したときに限ります。
2. 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

#### 第7条: 当館の契約解除権

---

1. 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
  - 1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
  - 2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
  - 3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
  - 4) 天災等不可抗力によって起因する事由により宿泊させることができないとき。
  - 5) 旅館業法施行条例の規定する場合に該当するとき。
  - 6) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項（火災予防必要なものに限る。）に従わないとき。
  - 7) 暴力団等反社会勢力。
  - 8) 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体。
  - 9) 法人でその役員のうち暴力団に該当する者のあるもの。
  - 10) 他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をした場合。
  - 11) 当館もしくはその従業員に対し、暴力的要求行為を行い、または合理的範囲を超える負担を要求した場合。
2. 当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

#### 第8条: 宿泊の登録

---

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
  - 1) 宿泊客の氏名・年令・性別・住所及び職業
  - 2) 外国人にあつては、国籍・旅券番号・入国地及び入国年月日
  - 3) 出発日及び出発予定時刻
  - 4) その他当館が必要と認める事項

宿泊客が第12条の料金の支払いを、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

#### 第9条:客室の使用時間

1. 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
  - 1) 超過1時間につき、室料相当額の10%
  - 2) 超過3時間以上は、室料相当額の100%

#### 第10条:利用規則の遵守

宿泊客は、当館内においては、当館が定めて館内に掲示した利用規則に従っていただきます。

#### 第11条:営業時間

1. 当館の主な施設等の営業時間は各所の掲示、客室内のサービスディレクター等で御案内いたします。

#### 第12条:料金の支払い

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
  - 1) 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めたクレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
  - 2) 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

#### 第13条:当館の責任

1. 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当館は、防災につとめておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

#### 第14条:契約した客室の提供ができないときの取扱い

1. 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

## 第15条: 寄託物等の取扱い

---

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は5万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が、当館内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについては、当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館はその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、5万円を限度として当館はその損害を賠償します。

## 第16条: 宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

---

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときでも、当館は原則、当該所有者に連絡はいたしません。また、所有者が判明しないときは、発見日を含め1ヵ月間保管しその後処分いたします。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとします。

## 第17条: 駐車場の責任

---

宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであつて、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし駐車場の管理に当たり当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

## 第18条: 宿泊の責任

---

1. 当館の宿泊に関する責任は、宿泊客が当館のフロントにおいて宿泊の登録をした時に始まり、宿泊客が出発するため客室をあけたときに終わります。
2. 当館の責に帰すべき理由により宿泊客に客室の提供ができなくなったときは、天災その他の理由により困難な場合を除き、その宿泊客に同等又は類似の条件による他の宿泊施設を斡旋する努力をします。
3. 前項の規定に関わらず客室を確保出来ない場合、宿泊代金と同等の補償料を宿泊客に支払い、その補償額は損害賠償額に相当します。ただし、客室が提供できないことについて天変地異・想定できない設備の故障等、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料はお支払いいたしません。
4. 当館の責に帰さない事由又は不可抗力により宿泊客に対して客室の提供が出来なくなった場合については、前項の対象外として当館はその責任を負いかねます。宿泊客が当館に掲示した利用規則に従わないために発生した事故に関しても当館は責任を負いかねます。

5. 当館においては、原則として宿泊者の持ち物のお預かりはいたしません。貴重品も含め宿泊者自身で管理してください。万一の紛失・盗難に対して当館は責任を負いかねますのでご注意ください。

6. 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。なお、設備・備品の破損・汚損・持ち帰り等により客室の販売が出来ない場合には、販売出来ない期間も含めての損賠額を請求いたします。

別表第1 宿泊料金の算定方法（第2条第1項及び第12条第1項関係）

		内訳	
宿泊客が支払うべき 総額	宿泊料金	〈1〉 基本宿泊料（室料+朝・夕食料）	
	追加料金	〈2〉 追加飲食及びその他の利用料金 〈3〉 その他追加利用料	
	税金	イ 消費税	

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

		契約解除の通知をうけた日				
		不泊	当日	前日	2日前	7日前
契約申込人数	14名まで	100%	100%	50%	20%	0%
	15名～30名まで	100%	100%	50%	20%	0%
	31名～100名まで	100%	100%	80%	50%	30%
	101名以上	100%	100%	80%	50%	50%

1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を收受します。

## AWA Nishiizu 利用規約

当館では、お客様に安全かつ快適にご利用いただくため、利用規則を定めておりますので、その遵守にご協力下さいますようお願い申し上げます。 遵守いただけない場合は、ご宿泊又は館内諸施設のご利用をお断り申し上げ、又場合によっては損害をご負担頂くこともございますので、特にご留意下さいますようお願い申し上げます。

### 火災予防上お守りいただきたい事項

1. 火災の原因となりやすい場所での喫煙(寝たばこ、館内の歩行中)はおやめください。
2. 客室内には暖房用、炊事用等の火器及びアイロン等を持込、ご使用はおやめください。
3. その他の火災の原因となるような行為はおやめください。
4. 消防用設備等のいたずらは、安全の維持に支障が生じますのでおやめください。

### 保安上お守りいただきたい事項

1. ご滞在中のお部屋からお出になられる節には施錠をご確認ください。
2. 館外へお出掛けの時は、フロントに鍵をお預けになれますようお願い申し上げます。
3. ご訪問客と客室内でのご面会をご遠慮願います。ご面会はロビーをご利用ください。

### 貴重品、お預かり品及び遺失物のお取扱について

1. 客室に備付の保管庫は、お客様が自由にお使い頂けるよう便宜備えつけてありますが、お客様の責任における使用にてお願いいたします。
2. 宿泊約款第16条、第2項第3項の規定及び関連の法令に該当する遺失物についてはお取り扱いいたします。

### ご利用における責任について

1. 当館内の備品は当館に帰属するものであり、当該設備、備品を破損・汚損・持ち帰りをした場合は、諸費用の相当額を請求いたします。
2. 当施設内において、貴重品・お手回り品の盗難・紛失に対する責任は負いかねます。また、お客様の現金及び貴重品のお預かりはいたしかねますので、ご了承下さい。

### その他お守りいただきたい事項

1. 館内にて他のお客様の迷惑となるようなもの、犬、猫、小鳥、その他の動物、発火又は引火性のもの、悪臭を発するもの、その他法令で所持を禁じられている物のお持込みはおやめください。
2. 館内で、高声、放歌、喧騒な行為、とばく、風紀、治安を乱すような行為、他のお客様の迷惑になるような言動はなさないようお願い申し上げます。
3. 当館の許可なく、客室、ロビー等を営業行為(展示、広告、宣伝、販売等)などの他の目的にご使用にならないようお願い申し上げます。
4. 館内の施設、備品の現状を著しく変更したり、用途以外のご使用はおやめください。
5. 客室の窓側、ベランダ、廊下又はロビーなどに物品を陳列したり、放置しないようお願い申し上げます。
6. 風呂及び洗面所のご使用後は必ず給湯水を止めてください。もし流し放しであふれさせますと館内に被害が及ぶ場合がございますのでご注意願います。
7. 下駄、ゴム長靴等でのご入館はご遠慮願います。
8. 未成年のみのご宿泊は、保護者の許可がない限りお断りさせていただきますのでご了承ください。
9. エネルギーを大切に使う為、節電、節水にご協力の程お願い申し上げます。